

きゅうまつざかやおおさかてん たかしまやひがしべっかん
旧松坂屋大阪店（高島屋東別館）の詳細説明

○名	称	旧松坂屋大阪店（高島屋東別館）
○所	在 地	大阪府大阪市浪速区日本橋三丁目
○所	有 者	株式会社 高島屋

説 明

（１）旧松坂屋大阪店（高島屋東別館）の概要

旧松坂屋大阪店（高島屋東別館）は、南海電鉄なんば駅東方の日本橋エリアにおいて、
塀筋に面して建つ、鉄骨鉄筋コンクリート造の大規模な建物です。

創建当初は松坂屋大阪店として建てられ、昭和3年（1928）から12年（1937）の3
期にわたって増築が繰り返され、松坂屋としては昭和41年（1966）まで営業を続けま
した。昭和43（1968）年からは高島屋の東別館となり、売場、事務所、史料館等とし
て利用していました。平成30年から令和2年にかけて改修工事を実施し、現在は宿泊
を中心に、飲食や展示スペースを併設する複合施設として利用されています。

（２）指定される建物について

旧松坂屋大阪店（高島屋東別館）は南北方向約105m、東西方向約46mの区画に建つ、
7階建一部8階建、地下3階、塔屋を3箇所設けた建物です。

外観の特徴は、塀筋側を豊かに装飾していることです。1階から2階にかけての下層
部には11連のアーチを並べ、半円部分にテラコッタ彫刻を施しています。3階から6
階の中層部はテラコッタ製の角柱を林立させ、柱頂部に彫刻を飾り、各階の窓廻りはタ
イル張りとしています。最上部の7階は柱間に3連アーチを並べ、その上部を細やかな
装飾のテラコッタの帯で飾っています。テラコッタ彫刻に用いられている装飾は、いず
れも直線と渦巻と草花文などの伝統的な紋様を近代化させた創作模様といえ、このよ
うな模様は建物の内部装飾にも多用されています。

内部は百貨店として使用されていた当初の意匠が、アーケードや南北2箇所に設けら
れた玄関ホール付近の大階段とエレベーターホールによく残っています。アーケードは
2階分の高さをもち、塀筋に面して約67mの長さで設けられ、内側には細やかな装飾を
施したショーウィンドウが並び、柱梁に黒大理石を張り、床は三色のテラゾー仕上げの
壮麗な歩廊になっています。大階段やエレベーターホールには、黄色大理石が多く用い
られ、大階段は手摺廻りを大理石彫刻で飾り、エレベーターは黒大理石で縁取るととも
に欄間や柱飾りにホワイトブロンズを用いるなど、豪華な空間になっています。

その他本建物は大規模な商業建築ならではの特徴も備えています。創建当初不特定多数が利用する百貨店は、大正12年（1923）に発生した関東大震災などを背景に防災対策が求められており、本建物は防火上弱点となる吹き抜けを作らない平面構成とし、避難専用階段を2箇所に設け、消火栓などの消火設備を充実させるなど、当時としては最先端の防火対策が入念に施されています。また現在は使用されていませんが、全館均一に冷暖房を供給する空調設備や、エレベーター等の垂直運搬設備など創建時の最新機器が一部保存されています。

なお本建物の設計者は、明治末から昭和前期にかけて名古屋を拠点に百貨店や銀行などを多く手がけた鈴木禎次すずきていじです。生涯で14件の百貨店を手掛けた鈴木禎次にとって、本建築は円熟期の作品であり、現存する数少ない事例の一つとしても貴重といえます。

（3）旧松坂屋大阪店（高島屋東別館）の価値について

旧松坂屋大阪店（高島屋東別館）は、長期間に及ぶ幾多の増改築によって成立した戦前期屈指の大規模百貨店建築であり、戦前期の大阪を象徴する商業地区である堺筋の都市景観の形成に寄与しています。また豊かな装飾を施した細部意匠や平面計画、建築設備、防火対策を入念に施す等、創建時の特徴が残されており、近代における百貨店建築の大規模化の過程を知るうえで貴重な建物です。また百貨店建築の設計に長けた建築家鈴木禎次の代表作の一つとしても重要です。

以上のことから国宝及び重要文化財（建造物）指定基準の「（3）歴史的価値の高いもの」と評価されました。

（用語解説）

○ テラコッタ

陶器や建築用素材などに使われる素焼きの焼き物。焼く前は加工しやすく、焼成後は硬く、風雨にも耐えるため、建築の外装を装飾する素材として用いられました。

○ テラゾー

大理石や類似の石材の碎石を白色セメントに混ぜて固め、磨いて大理石のように仕上げた人造石をさします。

○ 鈴木禎次 明治3年（1870）生、昭和16年（1941）没

鈴木禎次は明治29年（1896）に帝国大学を卒業後、三井銀行建築掛かかけや名古屋高等工業学校建築学科長を経て、大正10年（1919）より名古屋市内に建築事務所を開設しました。百貨店や銀行などを数多く設計し、旧中荻家住宅なかの（愛知県、明治44年、重要文化財）、諸戸家住宅主屋もろと（三重県、大正6年、重要文化財）、旧岡崎銀行本店（愛知県、大正6年、登録有形文化財）などが代表作品として知られています。



写真1 外観（堺筋より望む）



写真2 外観詳細



写真3 アーケード



写真4 大階段

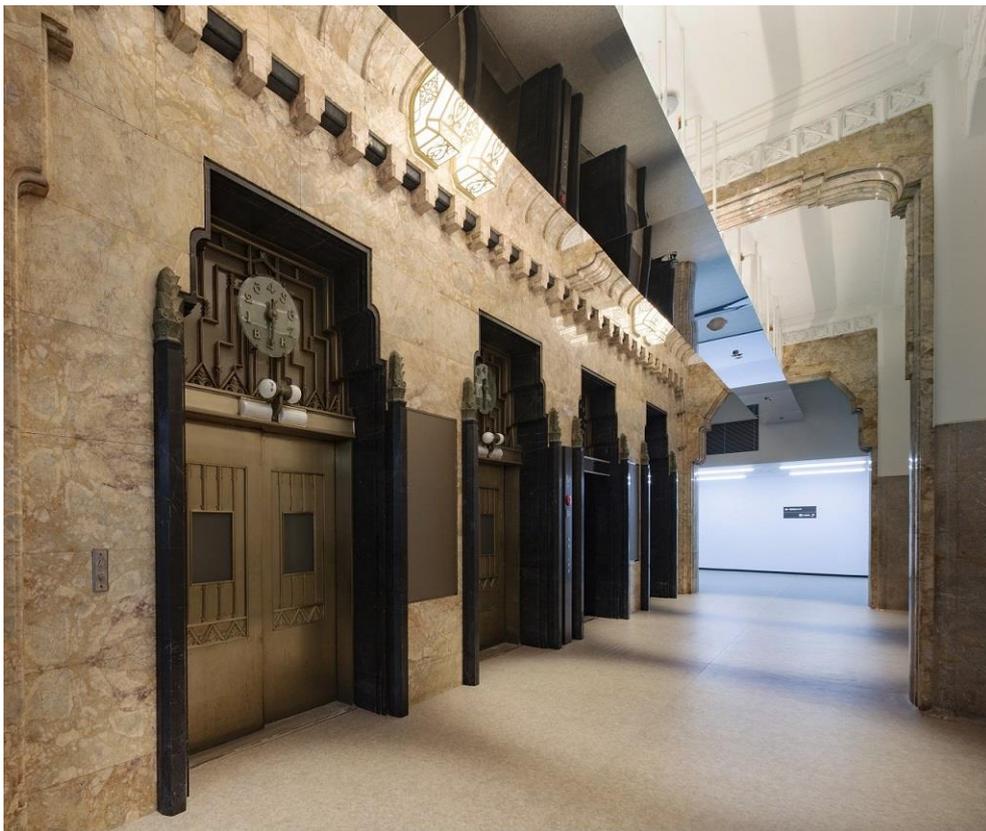


写真5 エレベーターホール

※写真1～5はすべて竹中工務店提供